

希望が香る、広報誌。

みみはら

vol.03





患者さんに

より適切・安全な医療を
提供するために

消化器センター

センター長

山口拓也

適切な判断・準備を
行なうために

この度、当院では消化器セン

特集

消化器センター
開設

Digestive organ center
establishment

2015年9月より、消化器センターが開設されました。消化器センター開設までの経緯や特色について山口拓也医師にうかがいました。

ターを設立することになりました。一言で消化器といっても担当する領域は、食道・胃・腸・

肝臓・膵臓などと幅広く、診断から治療、その後の療養指導となると、内科・外科、放射線科

医師の専門性はもとより、スタッフ一丸となつて医療を行う必要があります。消化器疾患の診断・治療法の進歩は目覚しく、個々の患者さんに最適な方法を確実に選択することが、以前にもまして重要となつていきます。治療に限つても、まず手術なのか、薬剤治療なのか。手術が妥当としても、内視鏡的な切除か、腹腔鏡下手術や開腹手術かといった判断が必要であり、適切な判断が求められています。

さらに治療が決定された場合でも、慢性疾患をお持ちの患者さんもおいでになり、手術前からの準備が重要となります。専任のスタッフが、外来受診時から密接に関わり合い、喫煙の有無、歯科治療の必要性、体重コントロール、糖尿病コントロールなど治療をより安全に行うための準備がかかせません。主治医まかせでは十分な準備は困難な時代になりました。このような機能を高めるためにも、センター化は必須と考えるにいたしました。

患者さんの不安を 安心に変えたい

患者さんの生活をまもり、安心して治療をうけていただくために病院というのは、ほとんどの方は病気のときにしか関わりがないと思います。そしてよく耳にするのが病院に対する怖いイメージ。どうして怖いのでしょうか？何をされるかわからない。いやですね。医者が無愛想で質問しにくい？ありそうな話

です。また昨今の自己負担の増加でお金の心配もつきまといま

す。こんな不安はもう十分ですね。新しい扉を開きたいと思えます。療養から、治療内容について専任のスタッフが十分説明させていただきます。納得、安心の上で医療をうけていただきました。耳原病院のスタッフはそう思っています。ご自身やご家族に心配なことがあれば、是非、当センターをご活用ください。



第三回

いのちの 現場から

安心して通ってほしい

朝8時。耳原総合病院の壁の脇に、けやきの木の木のシンボルマークが入った車が次々と到着します。降りてくるのは、車いすに乗ったり、杖をついて歩いたり、とさまざまなたち。それぞれ玄関へ、そしてエレベーターで3階へ、行き先は透析センターです。

この春、透析室は歴史ある老松診療所から耳原総合病院へ移設し、「透析センター」として生まれ変わりました。移設以前はマイクロボスでの集団送迎を行っていましたが、乗り合いのため、病院到着までの時間が長い、ステップが上げられないなどで、送迎車を利用できない方が年々増えてきていました。少しでも多くの方に安心して利用いただく



るようにと、移設を機に個別送迎の開始に踏み切りました。現在では、透析患者さんの180名中ほぼ7割の方に、個別送迎を行っています。

早朝7時から夜は最終10時まで、けやきマークの車が行きかいます。雨の日も風の日も、休日でもお正月でも、休むことなく患者さんを送り届けます。

「患者さんの容態変化に対応できるようドライバー教育を受け、ハンドルを握っています。

急ブレーキや急発進は患者さんにとって負担。出来るだけ優しい運転を心がけながら、時には冗談を言ってみたり、気持ちを和らげたりしていますよ」と運転手は言います。



終わらない。

だから、支えたい。

〈密着。透析センター〉

人生が変わる

「人工透析って血を入れ替えるの？」透析について、患者さんからよく聞かれるそうです。新しい血を入れかえるのではなく、自分の血をろ過装置で浄化し、それを再び体内に戻すのです。腎臓が正常に働かず、体内の毒素を尿として出すことが出来ない透析患者さんは、2日に1度、透析センターで血液をろ過する生活を続けることとなります。

1日に摂取できる水分は尿の量にもよりますが、500mlくらい。カリウムを多く含む生野菜や果物には制限があ

ります。その上、一回4時間近くかかる透析に1日おきに通う生活を余儀なくされます。

「まさに人生が変わるんですよ。透析を始めても、しばらくは受け入れられない患者さんもいます。でも透析しなければ命に関わる。その気持ちを知ったうえで一緒に病気に向かい合っていきたい。」とセンター長の 大矢麻耶医師。他の診療科医師、技師、看護師、栄養士、ソーシャルワーカー、事務とたくさん職種が一緒になってチームでサポートします。これまでの生活が変わる、そんな場面だからこそ、身体的にも精神的にも様々な

センター長

大矢麻耶



サポーターがいると考えています。「透析治療も含め、その人らしく生きていくお手伝い」が目指すところです。

治療はコミュニケーション

透析センターのベッド数は72床。朝、昼、夜と患者さんが入れ替わり立ち替わりやっけてきます。透析医療では常に正確さ、迅速さを要求されま

す。最も集中力を高める時が、動脈と静脈をつなぎ合わせた「シャント」と呼ばれる血管に針を入れる時。「うまく入れられるかどうかで患者さんとの信頼関係が変わります。私たちにとっては、患者さんとのコミュニケーションの第一歩。すごく重要な時間です」ある看護師はそう言います。



昼過ぎになると、透析センターがにわかに慌ただしくなります。朝の透析患者さんが

一斉に透析を終え、あちこちで完了を知らせるメロディーが鳴り響きます。

「お疲れ様でした」「今日は調子よかったですね」とスタッフの声、ほっとした笑顔を見せる患者さん。透析中静かだったフロアがふたたびにぎやかになります。

透析が終わった患者さんは食堂へ。管理栄養士が考えたお弁当を楽しみます。

「注意しなければならぬのは水分量と塩分にカリウム。食材の水分だけで調理をしたり、野菜は必ず湯通しするなど、調理法は常に工夫しています」と調理スタッフ。

「美味しい」の一言を励みに、新メニューに挑戦したいと意気込みます。



ひとりひとりにあわせて

透析にかかせないのが臨床工学技士。透析を担う精巧な機械。メンテナンスから機械



トラブル対応まで、安全な透析管理を任されています。また、透析患者といっても、高齢者から若者まで様々で、年齢や体格、食事量と、ひとりひとり違います。すべての方に同じ透析方法ではなく、若くて体格がよくたくさんたべる男性ではよりしつかりと毒素を抜くことを一番に、高齢で心臓の弱い女性では負担の少ないしんどくなりすぎないことを優先に、とそれぞれにあわせた透析を技士が提案します。「その人にとってよりよい透析を」さらなる質の高い透析を目指して。

透析は一生、一日を大切に

耳原総合病院には、透析患者さんで構成される「患者会」があります。三か月に一度集まって懇親会を開き、患者さんの声を病院側へ届けています。

「透析するようになったら人生は終わり、なんていう人もいますが、そんなことないんですよ」と患者会のみなさん。

食事や水分制限はあるものの、日常生活も仕事もできると思います。旅先の病院へあらかじめ透析を申し込んでおけば、海外旅行も可能と笑います。

透析はラクではないけれど、一生付き合うのだから楽しくやりたい。それが患者さんの願いです。しかし、そうするためには、自分の体や透析について積極的に知ることが大事だといえます。「ただ透析を受け、言われたままに薬を飲んでいただけでは、長生きは出来ません。病院では食事や透析に関する勉強会を定期的にかけてくれていますし、患者会でも「めぐめ」という会報誌を通して、患者さんに役立つ情報を発信しています。それらを活用して、1日1日を大切に生きてほしいと思います」



MIMI HARANA 人

趣味は？

旅行です。旅行中は、全く予定は立てずに気の向くままにその場所で過ごすという普段とは真逆の時間を過ごします。

あなたから見た耳原は？

真面目で、優しく、パワーがあり、一人一人の思いを大切にする組織・集団だと思います。

なぜ、今の職場に？

学生の頃は循環器や急性期はすごく苦手でした。というか嫌いでした(笑)。就職しても雰囲気慣れず戸惑いも大きかったです。働いていくうちに、出逢う患者家族を通じて循環器疾患や急性期に興味が深まりました。重症な患者家族を支え命を救うこと、そしてその人らしさを支援できる看護師になりたいと思うようになりました。また、共に働くスタッフが楽しさや達成感・充実感を感じながら看護を追求し病棟全体を高めることが出来ればと思い集中ケア認定看護師になり、現在はICUHCUで働いています。

私のここに注目して！

私個人よりもICUHCUで働くスタッフに注目してもらいたいです。私たちの病棟は新病院から新に作られた部署です。ベテランから若手まで力のあるスタッフがたくさんいます。今年からは新人看護師も配属され“共育(共に育ち合う)”をモットーに日々働いています。師長を中心に全員で団結し、耳原一キラキラ輝く病棟を目指しています！

大切にしているものは？

思考し創造することです。看護師として、目の前の患者家族にとっての最良とは何かを常に考えています。そして、現状に満足せず新たな事を創り上げ、常に前進できればいいなと思っています。

HIRAI MIKA ICUHCU主任看護師

チャレンジし続ける、みみはらきっての努力家ナース

平井美香

1983年、大阪府生まれ／2005年、入職、新館2階病棟配属
2011年、日本看護協会看護研修学校入学

2012年、集中ケア認定看護師取得／2015年4月、ICUHCU主任



いのうえ たけし

井上 剛 院長

1997年 大阪医科大学卒
大阪大学医学部附属病院
整形外科医局
2014年 5月8日開業

整形外科・リハビリテーション科・ペインクリニック内科

いのうえクリニック

全人的な整形外科診療をモットーに
地域で認められるクリニックでありたい。

医師を目指したきっかけは？

学問として限りなく学んでいける部分、患者様との関わりの中で人間学的にも探求できる部分、またそれら経験・知識を日常の診療にフィードバックできる点に魅力を感じています。

診療の際に心がけていることは？

患者様の病気を診るだけではなく、その方の価値観や背景など全人的といえますか全体像を踏まえた上での治療を提案できるように考えています。初診の患者様に対し、病態の把握や病状説明などできる限り時間を掛けて丁寧の説明するように努めています。リハビリテーション室に説明するよう努めていきます。リハビリテーション室に説明するよう努めていきます。リハビリテーション室に説明するよう努めていきます。

地域医療について

患者様やスタッフに支えられ、開業して1年が過ぎましたが、これからも地域の皆様に認められるよう精進していきたいです。

医療機関としては珍しく、土曜日の夕方診療もされていますね

対応できる医療機関が無くて困ってしまう患者様も多いですし、大病院などに負担が集中しがちだと思えます。病状的に本当に病院での治療が必要なのかの判断も含めて「ゲートキーパー」的な役割を担えれば...と考えています。

耳原総合病院への希望・要望

耳原のスタッフの皆さんにはいつも非常に迅速、丁寧にご対応頂いていますので、心強く思っています。今後とも態勢をしっかりと維持いただくよう願っています。



若々しく元気で明るいスタッフの皆さん



リハビリ室の設備・スタッフも充実



明るく開放的な外来待ち合い

設備・機器

レントゲン・骨密度測定装置

スタッフ

医師1名・看護師4名・事務10名・リハビリスタッフ6名



| 外来診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00 ~ 12:00 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 16:00 ~ 19:00 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

休診:水曜/日曜

〒590-0836 大阪府堺市堺区楠町1丁目1-24

TEL.072-245-3377 FAX.072-245-8686



脳とからだを活性化。

日本は4人に一人が高齢者であり、急速に超高齢社会へ突き進んでいます。年齢とともに身体や心、頭の機能はどうしても衰えてしまい認知症の頻度も少し高まりますが、それを予防するための体操を紹介します!!

「コグニサイズ」

コグニサイズとは・・・国立長寿医療研究センターが開発した認知課題(頭の体操)と運動課題(身体の体操)を同時に行い、脳とからだの機能を効果的に向上させる体操です。

イスで腕を振り足踏みしながら声に出して1から100まで数を数え、100まで数えたら1まで逆に数を数えます。

3

パチン!



ニ!



「3、6、9、12…」3の倍数は声を出さずに手拍子をします。

イチ!



運動トレーナーの どこでも 体操

Lessons **3**



健康増進室 運動トレーナー 本部 勇地

略歴/OBC 健康スポーツ学科卒。

20歳で同仁会に入職、健康増進室に配属。

現在、鳳クリニック勤務。

趣味:フットサル

ひと言:沖縄大好き!(沖縄出身ではありません)

できる人は立って行なってみてください。

できる人に
オススメ!

イチ!

ニ!



パチン!



慣れてきた人は・・・
5の倍数や7の倍数で
手拍子、足踏みの速さを
早くする。(ややき
ついと感ずる程度)

できる人に
オススメ!

食べる
ことは

生きる
こと

3

溝井 多恵子(調理師)

略歴/平成3年 同仁会に入職。
食養科に配属。

心がけていること：
常に自分が食べたくなるように
作っています！

GOOD!



鶏肉のローズマリー焼き

材料 4人分 エネルギー/340kcal 塩分/1.3g

鶏もも肉…1枚(300g)

[A] にんにくスライス…1片 オリーブオイル…大さじ3

ローズマリー(乾燥)…3g 塩…小さじ1 粗びきこしょう…適量

じゃがいも…中3ヶ ズッキーニ…1本 赤黄パプリカ…各中1/2ヶ

作り方

①一口大(2~3cm)に切った鶏肉を[A]に漬け込む。冷蔵庫で1時間は寝かせる。じゃがいもは皮つきのまま2cm角に切り、湯がいておく。ズッキーニは1cm幅、パプリカは種を除き2.5cm幅にスライスする。



②フライパンを熱し、強火で①を焼く。蓋をして中火で5分蒸し焼きにする。こんがり焼き目が付いたら裏返して今度は蓋をせずに3分焼く。一旦皿に取り出しておく。



③そのままのフライパンで野菜を炒める。野菜に火が通ったら鶏肉を戻し炒め合わせる。

④一度味をみて足りないようだったら塩で調味し、皿に盛り付ける。

ポイント! 鶏肉は前日から保存袋に入れてしっかり漬け込む。じゃがいもは火の通りが悪いので、湯がくか電子レンジで加熱しておく。

食べ物の持つ抗酸化作用。

油は何かと悪者にされることが多い食べ物ですが、オリーブオイルには、血中の悪玉コレステロールを下げるという有益な働きがあります。オレイン酸という脂肪酸が他の油に比べて多いことが理由です。またハーブ類は主にその芳香成分が広く活用されている食べ物です。特にローズマリーのおい成分は肉料理はもちろん、靴の消臭や衣類の防虫など日常的に使われています。そしてオリーブオイル同様、強い抗酸化作用を持っています。2つの食べ物に共通する抗酸化作用は、血管の老化を抑制し日本人の主要な死因の心疾患や脳血管疾患の一因となる動脈硬化を予防します。

今回は抗酸化作用たっぷりな一品です。ご飯にもパンにも合いますので、是非お試しください。



犬が地域に

関わるために

前号では、飼い犬が地域に認められることの大切さを書きましたが、それは飼い主と犬との日常生活での関わり方が、認められるということだと考えます。

それではどのような関わり方があるのでしょうか？

今回はパートナードッグのちびと私のお散歩の様子で、その例を少し書いてみたいと思います。

私は、外出時にはリードを短く持ちます。周りの状況にあわせて、ちびがいつでも適切な行動をとれるようにしてやりたいと思っていますからです。

例えば、人とすれ違うときや、犬連れの人が近づいてくると

き、「どうする？」と聞きます。

ちびは「本当だ。おすわりしよう」と態度で応えます。

信号が赤のとき「あっかしんご」で、ちびは「じゃ、座って、待たないとね」といった顔で私を見てくれます。「電車がくるよ」と言えば、踏切で止まります。

落ちている食べ物や気になるにおい、猫や鳥のような違う動物などちびが関心を示しそうなものがあるときには、「無視しよ



うな」と声掛けすると、心残りがあるようですがこだわることなく通り過ぎます。

排泄については、お散歩前に済ますように心掛けています。それでも、散歩中にしてしまつたときには、排泄は持ち帰り、排尿は水で流し、最後に除菌・消臭スプレーをしています。

歩きながら遊びも取り入れています。

「えくんせき」で、道路の縁石の上をバランスをとりながら歩いたり、川の側では「お魚さんいてる？」で、橋の上から一緒に川を覗き込んだりします。「ぼくさん」で車止めのポールに前肢をかけて、「ほら、見て！」と振り返ります。その行動の一つひと





つに對して、私は笑顔で「上手ね」「すごいね」「おりこうさん」など声をかけます。

ちびはいつも、自分の行動や態度はこれでいいのかと眼差しで私に確認を求めます。そんなとき、きちんと笑顔を返すことで、ちびは安心するのです。

私とちびは、いつもお互いの様子を確認しあっているの、よく目があります。

このようなお散歩をしていると、出会った人たちから微笑んでもらえたり、「楽しそうね」「お利口さんですね」と声をかけてもらえたりします。

「私は犬が嫌いだけど、この子はいつでもおすわりして待つてくれるから嬉しいわ。ありがとう」と言ってもらえることもあります。このような声掛けをも

らうことは、とても嬉しいことです。

ちびとの散歩で何度も出会う人たちは、ちびの話題にはじまって、いつの間にか挨拶や世間話ができるようになってきています。

知り合った人たちと立ち話をしている間は、ちびも大人しく待つています。

ちびとお散歩をしているだけで、地域の方々とのあたたかい出会いが生まれているのです。

私のパートナードッグ
ちび

DOG SALONちび

寒 章子

グルーマー
家庭犬ドッグトレーナー
インストラクター

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 14F | 緩和ケア病棟 |
| 13F | 一般病棟 |
| 12F | 一般病棟 |
| 11F | 一般病棟 |
| 10F | 回復期リハビリ病棟 |
| 9F | 小児科病棟 管理 |
| 8F | 一般病棟 総合研修 |
| 7F | 一般病棟 |
| 6F | 産婦人科病棟 外来 |
| 5F | 管理エリア |
| 4F | M E (看護学) 中材 (集中治療室) 手術 病理 |
| 3F | 給食 人工透析 リハビリテーション |
| 2F | 健診 薬剤 化学療法室 検査・R I 外来 地域交流ゾーン |
| 1F | 放射線 E R (救急救命室) 外来 サポートセンター (患者様相談窓口) |



6F 産婦人科外来



3F 透析センター
リハビリ室



2F 専門外来

平成 27 年 8 月より開設 20 口腔外科外来

平成 27 年 9 月より開設 20 循環器センター 21 消化器センター



耳原総合病院 ● 外来診療案内

問合せ先 072-241-0501(代表)

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------|----------------------------|--|---|---------------------|--|---------------------|--|
| 内科 | 紹介外来 午前診 | 斉藤和則(消化器) ※変更になる場合あり | 松田圭市(高血圧・循環器) | 岡田正博(消化器) | 大矢麻耶(腎臓内科) | 亀井亜希子(呼吸器) | 緒方浩美(1)(糖尿病) 松田圭市(2,4)(高血圧・循環器) 岩崎桂子(3)(糖尿病) |
| | 循環器センター外来 午前診 | (予)小笹裕 | (予)石原昭三 | (予)西山裕善 | (予)具滋樹 | (予)梁泰成 | × |
| | 神内リハビリ外来 午後診 | × | × | × | (予)三宅徹也 | × | × |
| | 糖尿病外来 午後診 | (予)岩崎桂子 | × | × | × | × | × |
| | リウマチ外来 午後診 | (予)川口真弓 | × | × | × | × | × |
| | 睡眠外来(SAS)夜診 | × | (予)瀧美正彦 | × | × | × | × |
| 消化器センター外来 | 午前診 | (予)山口拓也 | × | (予)岡田正博 | (予)吉川健治 | × | × |
| 外科 | 午前診 | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ | 大腸内視鏡予約外来 9:15~ |
| | | (予)山口拓也 | 手術日 | (予)裕野孝治 | (予)山口拓也 | 手術日 | (予)戸口景介(1) |
| | | (予)戸口景介 | 平林邦昭 | (予)石田ゆみ | (予)吉川健治 | 平林邦昭 | (予)裕野孝治(2,5)(乳腺・甲状腺) |
| | (予)今井稔 | ※月・水・木に直接来院の方は、当日予約診の医師が交代で診させていただきます。 | | | | | (予)平林邦昭(3)/(予)裕野孝治(4) |
| | 午後診 | × | 手術日 | × | (予)吉川健治(肝胆脾腫瘍) (予)山口拓也(ヘルニア) (予)裕野孝治(乳腺・甲状腺) | 手術日 (予)乳腺(非常勤) | × |
| 夜診 | (予)ピロリ菌除菌外来 17:30~19:00 | × | 大腸内視鏡予約外来 17:30~ (予)平林邦昭/(予)裕野孝治 17:30~19:00 | × | × | × | |
| 緩和ケア外科 | 午後診 | × | × | (予)緩和面談 | × | × | |
| 心臓血管外科 | 午前診 | 手術日 | × | 手術日 | × | (予)井上剛裕 | |
| 呼吸器外科 | 午前診 | × | × | × | × | (予)非常勤(1) | |
| 整形外科 | 午前診 | (予)河原林正敏 (予)吉岡篤志 | 手術日 | (予)河原林正敏 (予)吉岡篤志 | 手術日 | (予)河原林正敏 (予)吉岡篤志 | × |
| | 午後診 | (予)吉岡篤志 | 手術日 | × | 手術日/(予)非常勤 | (予)吉岡篤志 | × |
| | 夜診 | × | × | (予)吉岡篤志 17:30~19:30 | × | × | × |
| 脳外科 | 午後診 | × | (予)非常勤 14:30~16:00 | × | × | (予)非常勤 14:00~16:00 | × |
| 泌尿器科 | 午前診 | 交代制 ※新患のみ | (予)田原秀男 (予)橋本土 | 手術日 | (予)田原秀男 (予)安田宗生 | (予)安田宗生 (予)橋本土 | (予)交代制 |
| | 午後診 | 手術日 | 検査 | 手術日 | ESWL | 検査 | × |
| 皮膚科 | 午前診 | × | × | × | × | (予)内田修輔 | × |
| 口腔外科 | 午前診 | (予)○ | (予)○ | (予)○ | (予)○ | (予)○ | (予)○ |
| | 午後診 | (予)○ | × | (予)○ | (予)○ | × | × |
| 産科 | 午前診 | (予)内田学 | (予)三武普 | (予)高尾佑子 | × | (予)坂本能基 | (予)交代制 |
| | 午後診 | × | × | (予)高尾佑子 | × | (予)坂本能基 | × |
| 婦人科 | 午前診 | 坂本能基/高尾佑子 | 坂本能基/非常勤 | 内田学/三武普 | 手術日 | 高尾佑子/三武普 | 豊田正海 |
| | 午後診 | × | 当院で定期受診 中の患者様のみ、 完全予約制です。 | (予)坂本能基/(予)三武普 | 手術日 | (予)内田学/(予)高尾佑子 | × |
| | 夜診 | × | 坂本能基 ※17:30~19:00 | × | × | × | × |
| 精神科※ | 午前診 | × | (予)非常勤/(予)非常勤 | × | (予)非常勤/(予)非常勤 | × | (予)非常勤(2,4) |
| 眼科※ | 午前診 | (予)栗本拓治/(予)非常勤 | (予)栗本拓治/(予)非常勤 | (予)栗本拓治/(予)非常勤 | (予)栗本拓治/(予)非常勤 | (予)栗本拓治/(予)非常勤 | × |
| | 午後診 | 手術日 | × | 手術日 | × | × | × |
| ER(救急外来) | 24時間受付中 | | | | | | |

※医師の休暇等で診療体制に変更がある場合がございます。事前にお問い合わせください。

※精神科は非常勤のみの完全予約制ですので、事前にご予約ください。(緊急のお受け入れはできません)

※呼吸器外科では新規の患者様のお受け入れはしておりません。

※分娩予約は随時受け入れしております。



認定:2003年11月17日



認定:2005年12月13日



認定:2012年11月16日

地域医療
支援病院みみはら
VOL.03
Autumn
2015年10月1日発行発行人 奥村 伸二 発行 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 サポートセンター
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地 TEL 072-241-0501(代表)

各医療機関様専用 直通ダイヤル TEL: 072-241-0324 FAX: 072-241-0208

URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>